

NO.S-06 御坂・十二ヶ岳～節刀ヶ岳

期 日： 9月5日（日） 日帰り 天 候： 晴れ時々曇り
参加者： 4名 費 用： 約6000円
コース： 南浦和駅発6:03＝8:40 河口湖駅＝（タクシー）＝文化洞トンネル登山口9:05
－10:32 毛無山 10:45－12:15 十二ヶ岳 12:38－13:20 金山－13:33 節刀ヶ岳
－金山 13:50－14:12 鬼ヶ岳 14:25－15:08 鍵掛峠分岐
－16:17 魚眠荘バス停 （バス）＝河口湖駅 17:20＝20:06 南浦和駅

御坂山塊の核心部は、変化に富んだ、楽しくてかつ怖いルートであった。

タクシーを文化洞トンネル入り口で下車し、毛無山登山口より山道に入る。登山口には広い駐車場があった。全員3リットル前後の水を持っての登山であるが、9月に入ったというのに、日差しはますます強く、木陰と時折吹く風がことのほかありがたい。それでも一同元気よく、まず最初のピーク、毛無山に到着した。その名の通り、激しい「毛無し」かと思いきや、頂上には適当に木陰もあって、これで富士山の眺めがあれば、最高なのだが、今日は雲がとれず、展望がきかない。

さてここからが、核心部である。一から順に番号がふられたピークを一つ一つ越してゆく。太いロープの張られたところもあり、登下降に神経を使う。最後の十二ヶ岳の手前には、少々痛みかけたつり橋が架かっており、慎重にこれを渡ると、あとは十二ヶ岳への鎖場混じりのきつい急登となる。なんとかこれを登りきって、頂上で昼食とした。

十二ヶ岳から金山への道は、はじめはロープ場混じりの急下降だが、やがて岩場はあるものの、それほど危険を感じない程度の穏やかな道となり、やっ

と緊張感から解放されることとなった。やがて到着した金山は草に覆われた好ましいピークで、ここに荷物を置き、節刀ヶ岳を往復した。

この先も比較的穏やかな岩場混じりの稜線が続き、ほどなく奇岩の林立する鬼ヶ岳に着いた。が、細かい登下降が続き、全員やや疲労気味である。鬼ヶ岳から鍵掛峠への道は、疲れた体には辛い、気を遣う道で、小ピークを巻く道があるとほっとする。

鍵掛峠からは、いにしえよりの峠道となり、今までの様に急斜面を直下降するようなことはなくなって、疲れた足にはありがたい道となった。やがて里道になり、人里に降り立つとそこは最近できたという民家園で、多くの観光客で賑わっていた。サークル合宿の大学生たちとすれ違いながら、バス停に急いだ。バスは、遅れており、まるで下山する我々を待っていたかの様に現れた。

総じてこのコースは、登下降に神経を遣う道で、最近のガイドブックには、毛無山～十二ヶ岳と鬼ヶ岳～節刀ヶ岳の二つの日帰りコースに分けて紹介しているものもある。なるほどと思わせられる点が多かった。今後に生かせるとよいと思う。（0記）



吊り橋を渡る



十二ヶ岳の厳しい下り



十二ヶ岳頂上



節刀ヶ岳頂上